

ボードゲームのすすめ 1

新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、学校が休校となってから2週間がたちました。子どもたちが家で時間を持て余していたり、退屈な日々を過ごしていたりするのではないのでしょうか。そのような思いを解消する1つの手段として、ご家族でボードゲームやカードゲームで楽しんでみるというのはいかがでしょうか？

今年度は南町小学校で「ボードゲームクラブ」というクラブ活動が行われ、子どもたちも毎回の活動を楽しんでいたそうです。ここでは「ボードゲームクラブ」で人気のあったゲームも含め、ご家族で大人と子どもが一緒になって楽しめるゲームをご紹介します。(興味を持たれたゲームがありましたら、ネットで検索してみてください。画像つきの詳細なルールや値段なども確認できます)

■大人も子どもも本気でワイワイ楽しめるゲーム

駆引きや技術がいらないので、小さいお子さんから大人まで一緒に楽しめるゲームです。

①ヒューゴー

サイコロでプレイヤー駒とオバケ駒を動かし、プレイヤー駒をオバケ駒に捕まらないように部屋に逃げ込ませるゲーム。

お化け駒はサイコロの2面にあり、常に3マス移動するため、最初は遠く離れていますが、すぐにプレイヤー駒に追いついてしまいます。オバケ駒が近づくとつれてキャーキャーとみんなで盛り上がります。

ボードゲームクラブでも人気のあったゲームです。

プレイ推奨年次：低学年～高学年

プレイ人数：2人～8人

プレイ時間：30分

②チーキーモンキー

サルのぬいぐるみから動物の絵の描かれたチップを1枚ずつ引きます。何枚引いても良いのですが、同じ絵のチップを引いてしまうと、その時のチップは全て没収されてしまいます。同じ絵が出る前に引くのを止めると、その時に引いたチップが自分のものとなり、1列に積み上げることが出来ます。

ただし、まだ安心はできません。自分の前に積み上げた一番上の絵と同じチップを他の人が引いたらそのチップは取られてしまいます。

チップを引く時のスリルと取ったり取られたりでワイワイと楽しいゲームです。

プレイ推奨年次：低学年～高学年まで OK

プレイ人数：2人～6人

プレイ時間：20分

③ナンジャモンジャ

順番にカードをめくり、カードに描かれた不思議な生き物に名前をつけていきます。同じ絵のカードが2回目にめくられた時、最初につけた名前を口々に叫び、最初に叫んだ人が貯まったカードを全て受け取ることが出来ます。

最初に名前をつける面白さと、2回目以降の名前を叫ぶ爽快感で盛り上がります。子ども達は競って変な名前や同じような名前をつけたがるので、それだけでも楽しくなってしまいます。

プレイ推奨年次：低学年～高学年まで OK

プレイ人数：2人～6人

プレイ時間：15分

④キャプテン リノ

順番に壁カードと屋根カードを載せていきなるべく高く積み上げていくゲームです。

屋根カードには壁カードの置き方が描かれており、その通りに1～2枚の壁カードを配置します。その後、自分の手元にある屋根カードをのせます。屋根カードには特別な働きをするカードがあり、次の人をスキップさせるものや屋根カードを引かせるもの、「リノ」という人形駒をのせるものなどがあります。

この「リノ」の駒を下の階から取って自分の階に置くときに崩れてしまうことが多く、見ている人もハラハラします。上手くのせると1メートルくらいの高さになり壮観です。

5枚配られる屋根カードを最初に使い切った人が勝ちとなります。

ボードゲームクラブでも人気のあったゲームです。

プレイ推奨年次：低学年～高学年まで OK

プレイ人数：2人～6人

プレイ時間：15分